

特別
付録

東京オートサロン出展マシン
220台オーバーGUIDE

Option

OPTION 2013年3月号(毎月26日発売)1月26日発売
第33巻第3号 通巻434号 1981年8月3日 第3種郵便物認可

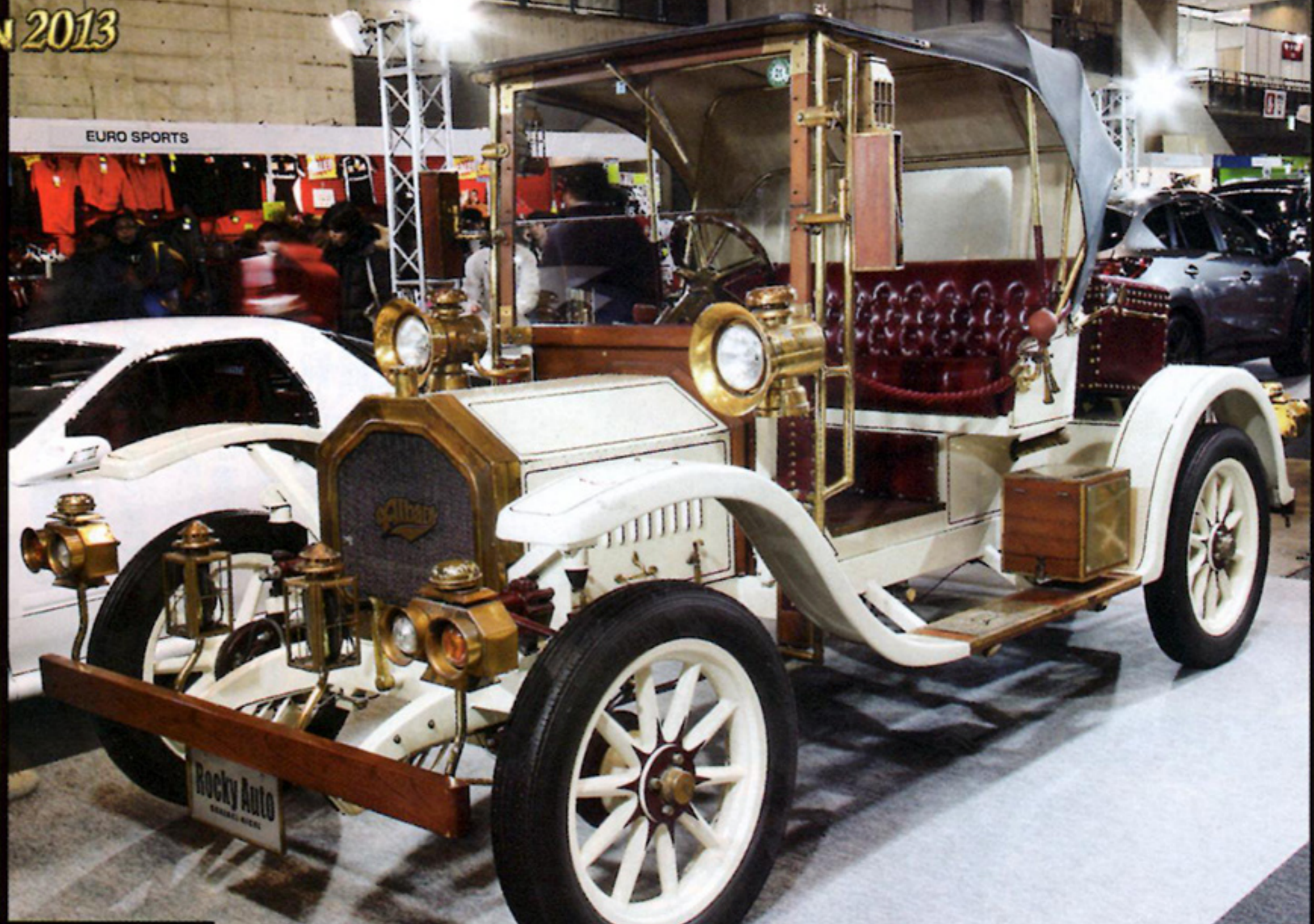
Real Tune & Exciting Car Magazine [オプション]
<http://www.jdm-option.com/>

TOKYO AUTO SALON 2013 完全収録

3

2013
March
特別定価
[680yen]





Albany / 1904

Rocky Auto

Albany & Panther J72

ロッキーオート 愛知県岡崎市明大寺町字大塚55-31 ☎0564-58-7080 <http://www.rockyauto.co.jp>



灯火類を使用するためのオルタネーターがついているほか、細かな部分がレストアされているもの、エンジンも当時モノ。いまでも調子は良好だそう。



インテリアも当時の雰囲気そのままにレストアされている。3つあるメーターは国内で変更されており、左から燃料計、100km/hスケールの速度計、水温計だ。



昭和の時代にフルレストアされ、レザーの張り替えや再塗装が実施されている。見た目には分からないが、ホイールは当時の木製を忠実に再現した鋳鉄製。そのほか、リヤのトランクを含めてほとんどが当時モノだそう。

最新パーツを駆使した、今どきの仕

1977年製で、こちらはロッキーオートが得意とする

一体いつの時代のクルマだ？ ロッキーオートのブースで、そう思った人は多いだろう。幌付きのクルマはイギリスのオーバード社が1904年に製造したガソリンエンジン車で、日本にまだ国産ガソリンエンジン車がなかった頃の貴重な1台。しかも、好調に自走可能というからさらに驚きだ。

クラシックカーを楽しむ2つの方向性
“オリジナルの風情”と“最新の快適性”

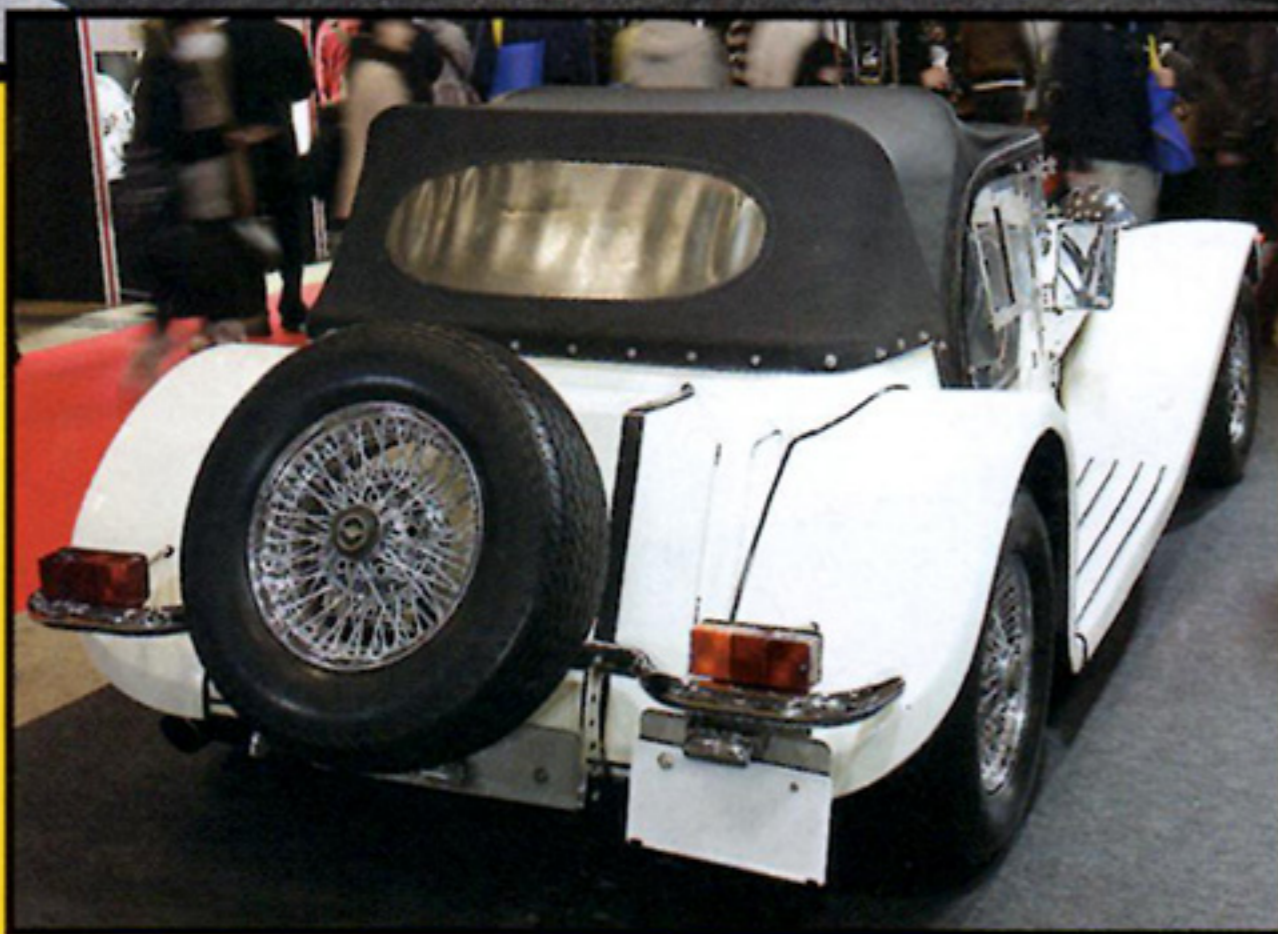


1977年製で、こちらはロッキーオートが得意とする。具体的にはエンジンとミッションを、セルシオの1UZFEと5速ATにスワップして、エアコンも移植。そのほか、内装などはオリジナルをキープし、現行モデルの動力性能で快適に、メンテナンスレスでクラシックカーを楽しめるのが魅力だ。

Zではなく、2台の欧州クラシックカーを展示したのか。1台はオリジナルにこだわり、1台は最新パーツをふんだんに盛り込みと、両極端の仕様を並べることで、クラシックカーの楽しみ方を広くアピールしたかったのが理由だ。なお、2台とも購入可能で、価格は要問い合わせということだが、そう簡単には手が出ないことだが、そうとは、想像するにたやすい…。

Panther J72 / 1977

本来搭載するエンジンも4.2ℓ直6と大排気量だが、UCF10に搭載された4ℓV8の1UZに換装することで、ゆとりあるパワー特性を与えるのももちろん、トラブルを気にすることなくドライブを楽しむことを可能としている。ちなみに、エアクリナーはスペースの都合上、剥き出しタイプへ交換されている。



パンサーJ72自体が1930年代のジャガーSS100を70年代の技術で再現した高級スポーツカーであり、日本にも正規代理店が存在していた。この車両も中部八洲自動車販売したディーラー車だ。